



# 会津放射能情報センターNEWS 24号

〒965-0877 福島県会津若松市西栄町 8-36

TEL & FAX : 0242-23-9401

メール : info@aizu-center.org ホムページ : http://aizu-center.org

公式ブログサイト : http://ameblo.jp/mamorukai-aizu/

Face book : 「会津放射能情報センター」で検索



2017年12月8日発行

## 第10回平和まつりに参加 『福島っ子・ドラマの広場プロジェクト』 8月5日(土)



会津若松の市民団体が協力して主催する第10回平和まつりに参加しました。

俳優・根岸季衣さんのビデオメッセージ「子どものはなしを聞くときは」に始まり、清水きよしさんのパントマイムで想像の世界に誘われ、劇作家・篠原久美子さんと教師・土井幸美さんのリードで、観客も一緒になって、体全体を使って様々な感情を表現しました。上演中、父親の膝で眠ってしまった幼な子の姿に「平和」を見たひとときでした。

## ロビン・デュピイ チェロコンサート Vol.4 9月29日(金)

今年もチェリストのロビン・デュピイさんが、玉置浩二東北ツアーの合間を縫うようにして会津若松へ。今年で4回目となったコンサートでは、「We shall overcome」や中島みゆきの「糸」をロビンさんの演奏とともに参加者が歌う趣向もあり、チェロの音色と参加者が一つになったように会場は温かく豊かな空気に包まれました。



また、カンパ箱に寄せられた献金は、会員が保養に利用している「にいがたはうす」運営のために、新潟教会様に送金しましたことをご報告させていただきます。ロビンさん、毎年本当に素敵な演奏をありがとうございます！

## トミー・バーケット・朋生さん



トミー・バーケット・朋生さん(コロンビア大学文化人類学専攻博士課程)が6月中旬から約2か月間、センター1階に滞在しました。論文執筆に向けて県内外のフィールドワークを行い、原発にまつわる歴史や人々の証言を収集。2018年早々には再来日し、会津若松で1

年間の研究生生活を始めます。

トミーさんの帰国前に開いた「トミーさんとおしゃべり会」では中高生の女の子達が楽しい時間を、「福島研修報告会」では原発の歴史が孕む負の側面に触れることができました。報告会では、参加した高校生から「海外で福島の実況報告をするために、同級生らが福島原発に見学に行くことになっている」との発言があり、私たちは大きな衝撃を受けました。

### <参加した女子高生 S・Y さんの感想>

私がトミーさんの発表の中で、特に印象に残ったのは心理的な問題です。被害の状況は後を追うようにして報告されるため、事故に対する不安や実感を遅れて感じ、私たちは恐怖に陥るといなのです。確かに私たちが事故の現状を現在進行形で知り、正しく行動し対応することは難しいです。

だからこそ、私たちは情報を正しく判断し理解する正しい知識を身に付けることが必要だと深く感じました。





南支区のみなさん。前列左から2人目がキスト岡崎さゆ里さん。

東日本大震災が起きて十日後、夫は仙台を拠点にしたボランティア活動に向かいました。東京に戻って話してくれた数々の被災地の様子は衝撃的で、ある被災した小学校の、卒業式の案内が貼ってある掲示板を目にした時に、これは遠い国の不幸な出来事ではなくつい前日まで私たちとまったく同じように日本で普通に暮らしていた人の生活が失われた出来事だということが実感として迫ってきて涙しました。

あれから6年以上が経ち、次々と大きな自然災害が続く中で東日本大震災の傷跡はだんだん忘れられているようです。しかし、他

にはない非常に特殊な被害が今なお手当てされるどころかますます拡大しているのが、福島第一原発事故による放射能被害ではないでしょうか。それは第一に、人類にとって何世代にもわたる大きな課題の一つである放射能・核による「環境と命」を破壊する世界的な被害であったこと。第二に、政府の責任による適切な補償が被害者になされていないこと。第三に、人の心の闇すなわち罪が被害を大きくしておりそれが露わになっていることです。これらのことに気づかされたのは会津放射能情報センターへの訪問によってでした。

センターについては、実は当初「原発から百キロも離れた会津で？」と活動内容に疑問がありました。しかし、2012年に初めて日本キリスト教団の東京南支区被災地救援委員会として教会の皆さんと一緒に訪問した際に、三時間にわたるセッションを通して見えてきたのは「人の心」が、困難な状況を乗り越えさせも、また悪化もさせるということです。放射能は「目に見えない」ため、人の考え方は持っている情報源や情報量などによって判断が分かれざるを得ません。それが国や東電の責任逃れを可能にし、また被害者同士を分断しているという悲しい事実。しかしセンターはそれにあらがって人の心をつなげようとしているように思えました。

センターでの経験で、最も胸打たれるのが避難している方々の証言をうかがうことです。「自主避難者」「強制避難者」の違いも知らずにいるような初対面の私たちの目の前で、ご自分の思いやつらさを涙ながらに語ってくださる方々。自然も家族も友人関係も破壊された苦しみ。どの方のお話も、普通に日常を生きてきた人生に突如降りかかったことであり「私でもあり得た」と強く共感させられ、心にとどまり続けます。できるだけ多くの人にこの共感を広げたい。すべての人が自らの問題としなければならない。そう願って以来、全国友の会という婦人団体の仲間を引率し、また全国教会婦人会連合でも呼びかけて訪問ツアーを行いました。南支区の訪問も年一度ですが毎年続けています。自分がここで経験し感じたことを、所属する団体に持ち帰って伝え広められればと思います。

会津放射能情報センターの特徴は、被災者各人の「境遇を尊重する」姿勢だと思います。被災や補償の大小、避難できる状況かできない状況かという「境遇」は、確かに自分で選べたものではありません。だから、人それぞれの抱える苦しみや悲しみと同じように、それぞれ置かれた境遇もまた人と比べても仕方ない、比べられない。そう割り切ってやっかみやそねみから解放された心で助け合うことができるようになれば…。と、願いつつも難しいことだと思います。しかしセンターは、どんな立場や思いの人も受け止めて、各々の境遇の中で「私の安全は私が決める」という選択の主体性を励まし、そのうえで苦しみを生んだ根源の責任追及と解決のため共に闘っています。もし日本全体でそうなれば、当事者だけが孤独に苦しむことはないはずですし、ましてや避難先で被災者がいじめを受けるなどということもあり得ません。

センターは、一年に一度しか来ない東京の私たちのことも、責めることなく受け入れてくださいます。それはなかなか出来ることではありません。その在り方に見習いたい、自分が置かれた場で連なりたいと願います。



## センターへようこそ！

夏から秋にかけても、センターはたくさんのお客様をお迎えしました。福島の現状や課題に関心を寄せ、思いを共感してくださる姿は、大きな励みです。



フレンドナイトシップで歌の披露



被災体験に耳を傾ける時



Nice to meet you!



7月17日(月)～19日(水)アメリカ合同メソジスト教会ウエスレー教会青年17名と引率者5名が来館。2013年夏、海外保養プログラムとしてセンターに繋がる会津の高校生6名を迎えてくれたみなさんです。

11月16日(木)大阪教区6名が来館。

大阪教区は、2012年2月より山崎知行内科医師を東北教区放射能問題支援対策室いずみとセンターに派遣してくださっています。

開催した「しゃべり場&大阪教区との懇談会」には、自主避難を諦めて地元に戻った会員や仕事の合間に駆けつけた会員もいました。

一般的には知らされていない汚染土移送のずさんな実態には、参加者から驚きと怒りの声が上がりました。



また、この6年間私たちの心身の健康に心を砕いてくださる山崎医師へ感謝の想いを語る会員は、「原発事故後生じた苦難と混乱に深く悩み苦しんだ。山崎先生に相談し支えていただいたことで、どれだけ救われたかわからない。本当にありがとうございます。」と涙ながらに話をされ、職場へと戻っていきました。

### 会員募集と年会費納入に関するお願い

これまでのお支えに深く感謝いたします。

会費や協賛金のご送金は、なるべく「ゆうちょ銀行払込取扱票」をご利用ください。納付状況などご不明の点があればセンターまでお問い合わせください。また払込取扱票をご入用の方はお送りしますのでご連絡ください。

年会費 個人:3000円 団体:5000円

振込先のご案内

<ゆうちょ銀行口座>

記号 02270-2 番号 116030

振込先名:会津放射能情報センター

<他銀行からゆうちょ口座への送金場合>

店名:二二九 店番:229

預金種目:当座預金 口座番号:0116030

毎年の来館ありがとうございます。  
11月17日(金)日本キリスト教保育所  
同盟京都地区15名が来館。





■2017年9月～12月活動報告と予定■

■9月

- 1日 北海道保養振り返り6名
- 2日 報告:青山学院大学ハンドベルクワイア 17名  
証言:野木晃子
- 7日 第7期予算検討
- 9日 小林恒司医師しゃべり場 4名 個別相談 1名
- 15日 山崎知行医師しゃべり場 8名 個別相談 2名
- 22日 報告:生活クラブ神奈川 80名 片岡輝美
- 29日 ロビン・デュプイ氏チャリティーチェロライブ vol.4 50名
- 30日 ウェスレー財団リユニオン 佐瀬南海子・片岡輝美

■10月

- 2日 来館:大阪YWCA 17名 証言:野木晃子
- 5日 10月役員会
- 5日 ひだんれん県交渉
- 7日 小林恒司医師しゃべり場 3名 個人相談 3名
- 13日 第6期会計監査
- 18日 報告:山梨英和大学 片岡輝美
- 18日 第12回子ども脱被ばく裁判口頭弁論
- 19日 しゃべり場 5名
- 20日 来館:東京教区南支区 6名 証言:山口朗・渡辺洋子
- 28日 第7回会津放射能情報センター総会 17名
- 30日 浜通り視察:群馬地区 5名 引率:片岡謁也
- 31日 来館:群馬地区 5名 片岡輝美

■11月

- 9日 役員会
- 11日 小林恒司医師個人相談 3名
- 12日 報告:富士見高原教会 50名 片岡輝美
- 16日 来館:大阪教区 6名 証言:渡辺洋子
- 16日 しゃべり場&大阪教区との懇談会 18名
- 17日 来館:キ保同京都 15名 証言:野木晃子
- 23日 報告:関東教区群馬地区大会&子どもの集い  
2017・200名 片岡謁也・片岡輝美
- 26日 子ども脱被ばく裁判弁護団原告団交流会 9名  
片岡輝美

■12月

- 2日 来館:デュルクレ・修子さんご夫妻
- 3日 感謝:松山城南高校福島修学旅行 片岡輝美
- 9日 センター大掃除
- 14日 しゃべり場
- 20日 センター役員会・慰労会
- 23日～1月9日 冬期休館

ありがとう♪

大掃除を手伝ってくれた可愛いお友だち。支援品として寄せられた手編みの帽子をかぶり、お菓子をもってご機嫌の笑顔を見せてくれました。



■感謝報告(2017年9/17～2017年11/30)■

いつも当センターをお支えくださり、ありがとうございます。会費・協賛金および支援品によりお支えくださった方々のお名前を、敬称略で記載いたします。特記なき教会は日本基督教団です。万が一、記載落としがありましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

■個人

依光隆明 岩下潔 沖田忠子 武田隆雄 池田春善 安孫子舜代 一色八重子 横山義弘 横山恵子 山崎知行 佐藤美穂 田中暁美 栗原通了 岩高澄 小林由美子 小林米子 高田順久 小関京子 小畑太作 加藤陽子 木村はるみ 伊藤三和 川村邦彦 森純江 中沢譲 大塚好子 長谷川敏夫 島村紀美子 阪本史子 新井ななえ 岡野正 岡野裕恵 安藤節子 吉川綾 最上光宏 本木栄子 平田より子 鈴木真理 矢野寛子 佐々木昭代 阿部順子 大倉一美 宮島コウ 渡部政子 世古敬子 長谷三知子 本田栄一 小林明 大橋悦子 河原田美哉子 一本干鶴子 右近史江 西島光代 菅野順子 島香美 安井修二 松尾みつ子 立岩秀彦 戸枝正輝 ロビン・デュプイ 前川圭子 五十嵐こず恵 鈴木仁美 島田知子 長井美歌 飯沼一元 谷本一廣 谷本芳子 岡安宏祐 田伏和子 春木谷恵 山本裕司 青木道代 栗山文昭 岩橋幹也 大竹隆 大木正人 長坂ゆり子 齋藤久美子 木村愛美 鈴木道也 鈴木摩耶子 竹佐古真希 村上和 小坂橋秀見 平岡昭子 永尾佳代 林誠子 佐藤久美 加藤公子 寺島順子 ジャイルズ恵 山口和枝 佐久間愛 石川嗣郎 根本淑栄 加藤千代 蓮尾公子 北垣成子 坂野龍英 本田宏美 木戸弘継 梶原美穂 山口朗 菅野円 高橋幸子 佐々木基文 菅野美智子 高橋京子 横内いずみ 鈴木真弓 野木晃子 佐瀬朋子 五十嵐進 五十嵐明日香 大竹桃子 小西二巳夫 小西文江 水野秀治郎 白井康之 成松三千子 安間ちよう子 及川尚一 酒井恭子 牟田青子 森園かずえ 石川沙耶 塚原善行 小沼紘美 中山拓治 石川雅子 下川潤 木村和子 市川真紀 長井恭子 小野洋子 藤崎義宣 藤崎久美子 松田光代 林京子 児島良一 渡辺宏子 鈴木善実 中村光一 吉田京子 高谷三郎 高橋真人 高橋容子 渡部里美 横山幹央 渡邊純枝 矢柳かほり 漬物茶屋たけちよう 片岡謁也 片岡輝美 斎藤成二 有澤慎一 大和田貴子 渡辺洋子 松岡孝司 松岡佐和子 重松則子 小林休

■団体

西大和教会 坂戸いずみ教会 ぶどうの木保育園 武蔵豊岡教会社会部 千里聖愛教会 鹿島教会 久万教会 岩国教会 茅ヶ崎堤伝道所 元江別わかば幼稚園 No Nukes Goods Projects 光教会 花巻教会婦人会 兵庫県南部大地震ボランティアセンター 南支区東日本大震災被災地救援委員会 甲府YWCA 幕張教会 東所沢教会 大阪YWCA 南支区婦人委員会 久ヶ原教会 それぞれの宮澤賢治展 神戸教会「放射能から子どものいのちを守る募金」千歳栄光教会 青山町教会 C.S 甘楽教会 熱田教会 西大和教会のぞみの会 岩国東教会オリーブの会 福岡女学院教会女性の会 鎌倉恩寵教会 会津マスクワイア 千里聖愛教会 藤沢大庭教会 富士見高原教会 教団核問題連絡会 愛光保育園 河内松原教会 大阪教区東日本大震災支援特別委員会 日本キリスト教保育所同盟京都地区 桂保育園 桂ぶどうの木こども園 月見ヶ丘こどもの家

■支援品

中村純子 渡水正裕・麻衣子 札幌北部教会 元江別わかば幼稚園 札幌北光教会 島松伝道所 札幌北光教会 中村純子 千歳栄光教会 室蘭めばえ幼稚園 九州ラバーズ鳥栖牧瀬 太平子どもの家 熊野ナオミ 宮下由美

～編集後記～

「カメムシが多い年は大雪」「カマキリの卵が産み付けられる高さで降雪量がわかる」等々、雪国には来たる冬の降雪量を推し量る事象があります。この秋私が聞いたのは「カメムシが大量に発生した」との噂。さあどうなるでしょうか？(朋)